第14回親子体験学習会　2018.9.29

［気持ちのいい家つくろう］秋田・遊学舎

女性委員会恒例の親子体験学習、今年は秋田市遊学舎で開催。受付では、９月１日東北ブロック会みやぎ大会の余興で使った「秋田県建築士会女性委員会アピール団扇」（金農応援ありがとう！バージョン）でお出迎え。ここで役に立つとは、恐れ入りました。（清水川さん力作）

さぁ、本日のオリエンテーションを追え、親子10組２８人に女性委員会＋青年委員会メンバーがサポートしながら、思い思いの家づくり、個性あふれる家が完成しました。遊学舎は「ものづくり」に必要なスペースと道具が揃っているすばらしい施設で、参加してくださった皆さんも快適だったと思います。年を追うごとに参加してくれる子供たちの発想が現実的でかつ地球温暖化まで考えた家づくりを提案してくれるので、私達も大いに刺激を頂きつつ、彼らが大人になったら「建築」を通じて「住みよい秋田」を創る人材に育つことを願っています。

は8・5%（2016年度末時点）で、全国で最も低い。

午前10時～午後6時50分。問い合わせは同センター☎018・893・6128

（田村瑠子）

建築士がアドバイス　家の模型、思い思いに

遊学舎、親子で体験

段ボールなどの廃材でオリジナルの家の模型を作る体験学習「きもちのいい家をつくろう」が29日、秋田市上北手の遊学舎で開かれた。親子10組28人が、それぞれユニーク

持ってもらおうと2006年から実施している。

参加者は会員建築士からアドバイスを受け、段ボールや卵のパック、余った壁のクロスなどを使って作業した。折り紙を段ボールに貼り付けて

会員建築士と一緒に型を作る子ども

あふれる家を完成させ

吉松慶一郎君（中通小

は「紙の間」

するのが

秋田中央支部の皆様、準備～跡片付けまでお疲れ様でした。

秋田中央支部の皆様、準備～跡片付けまでお疲れ様でした。

淡路会長も手伝ってくれました。

造っている子供たちは真剣、おかぁさんは楽しそう。
そんな家族を見ていると私達まで笑顔になる！

最高

紫に「K」のハチマキは伊藤さんの手作りで、のけぞり秋田県民歌を熱唱した記憶がよみがえる…。

（一社）秋田県建築士会　女性委員会主催